

★先生方へ～解答例の①～⑧は、問題給紙裏面の設問番号に対応しています。

1

(1) ①、③

かける数が1より小さいときは、積はかけられる数より小さくなります。

(2)  $\frac{2}{6} \times \frac{3}{1}$ 、 $\frac{6}{3} \times \frac{1}{2}$  など

分母と分子の数が等しい分数のとき、大きさが1になります。

(3) (例)

分数に分数をかける計算は、分母同士、分子同士をかけて計算します。なおとさんは、分子の $3 \times 2$ は計算していますが、分母の7について、たし算やひき算のようにそのままの数で計算しているので間ちがいです。

$$\frac{3}{7} \times \frac{2}{7} = \frac{3 \times 2}{7 \times 7} = \frac{6}{49}$$

分母同士をかけていないことを言葉と数を用いて書いていれば正解です。

0.3を分数に直し、分母と分子を入れかえます。

$$\frac{10}{3} \left[ 3\frac{1}{3} \right]$$

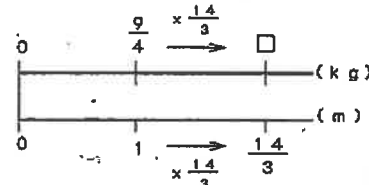
3

ウ

4

$$\frac{21}{2} \left[ 10\frac{1}{2} \right] \text{ kg}$$

図のように、 $\frac{9}{4} \times \frac{14}{3}$  で求めます。



5

$$x \times 4 = y$$

$$(4 \times x = y)$$

6

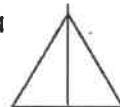
① 工

② イ

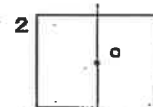
「 $\times$ 」の意味から、式が何を表しているのかを考えます。

7

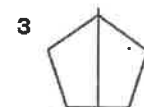
(1)



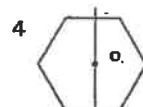
線対称



線対称、点対称



線対称



線対称、点対称

1つの点を中心にして $180^\circ$ 回転させると、もとの図形とぴったり重なる図形を、点対称な図形といいます。



※正三角形を1つの点を中心にして $180^\circ$ 回転させると、もとの図形とはぴったり重なりません。正三角形は点対称な図形ではありません。



※長方形を1つの点を中心にして $180^\circ$ 回転させると、もとの図形とぴったり重なります。長方形は点対称な図形です。

2、4

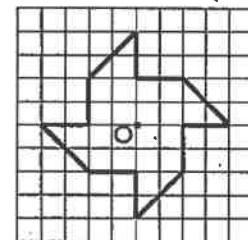
(2)

(例)

点対称な図形では、対応する2つの点を結ぶ直線は、対称の中心を通ります。まず、対角線を引きます。2本の対角線が交わったところが対称の中心です。

対角線を結ぶと交わったところが対称の中心になるなど、見つけ方を書いていけば正解です。

8



点対称な図形では、対称の中心から、対応する2つの点までの長さは等しいので、その性質を使ってかきます。

